第5課

1. 単語

梅雨

豪雨

しとしと：

**１** 雨が静かに降るさま。

「春雨が―（と）降る」  
**２** 物事をもの静かにするさま。しとやかなさま。しずしず。

**「娘の母親が、―とあがって来た」**

［形動］湿っているさま。また、濡れているさま。**「露に―に濡れて」**

続く：**１** 前からの状態や行為などがとぎれたり変わったりしないでそのままつながる。

「晴天が―・く」

「にらみ合いが―・く」  
**２** 同じものが隣り合った状態でずっと連なる。

「家並みが―・く」

「だらだら坂が―・く」  
**３** ある事柄のあとに、間をおかず他の事柄が連なる。物と物とが切れ目なくつながる。

「授賞式に―・いて祝賀パーティーを行う」

「応接間と勉強部屋とが―・いている」

「次ページに―・く」  
**４** 同じ物事が次々に起こる。ある事柄が前の事柄のすぐあとに起こる。

「不幸が―・く」

「地震に―・いて津波が起こる」  
**５** 順位が、すぐそのあとである。次ぐ。

「に―・く実力者」

悩む

悩ます：悩むようにする。苦しめる。

「頭を―・す」「腰痛に―・される」

取り外す：

**１** 取り付けてあったものを外す。

「足場を―・す」「車両を―・す」  
**２** うっかりして取りそこなう。取りそこなって落とす。

「茶わんを―・す」「機会を―・す」

和紙

押入れ　　６畳

ふすま：木で骨組みを作り、その両面に紙または布を張った建具。

区切る：

**１** 言葉や文章などに、意味・内容や音節などのまとまりで切れ目をつける。句読点や段落を施す。

「一言一言―・って話す」  
**２** ある広さをもつものを、境をつけていくつかに分ける。境界（きょうかい）を設ける。

「広間をカーテンで―・る」

通る：  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif物を貫いて反対側に至る。

「串が―・る」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif一方の口から差し入れて他方の口に出る。「袖に手が―・る」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/02513.gif二点間を結ぶ道筋ができる。

「高速道路が―・る」

 人や車が行き来する。

「絶え間なく車が―・る」

http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gifある場所を過ぎる。

「海辺を―・る」

「東京を―・って仙台に行く」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif（人が）屋内や室内に進み入る。

「座敷に―・る」

http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gif認められて成り立つ。

「法案が―・る」「願いが―・る」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gif矛盾がなくて内容が理解できる。

「理屈が―・っている」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/02513.gifとがめられずに受け入れられる。

「無理が―・る」

敷く：

**１** 一面に平らに広げる。

「絨毯(じゅうたん)を―・く」  
**２** 一面に平らに並べたり、まき散らしたりする。「畳を―・く」  
**３** 物を載せるために平らにして下に置く。下に当てる。「座布団を―・く」

**4** 設置する。敷設する。

「鉄道を―・く」  
**5** 配置をする。

「厳重な捜査網を―・く」

「背水の陣を―・く」

編む：**１** 糸・竹・籐(とう)・針金・髪などを互い違いに組み合わせて、一つの形に作り上げる。そのようにして、ある物を作り上げる。

「藺草(いぐさ)でござを―・む」  
**２** いろいろの文章を集めて書物を作る。編集する。「論文集を―・む」

**３** 計画を組み立てる。編成する。

「日程表を―・む」

吸い物

吸い取る：**１** 他の物の水分などを吸い出して自分の中に取り込む。吸収する。

「養分を―・る」  
**２** 液体・気体などを吸い込ませて取り除く。

「こぼした水を雑巾で―・る」

「掃除機でちりを―・る」  
**３** 他人の得た利益などを取り上げる。しぼり取る。「もうけを―・られる」

欧州

米国

風：**１** ある地域・社会などの範囲内で一般に行われている生活上の様式。また、やり方・流儀。風俗・習慣。

「都会の―になじむ」

「昔の―を守る」

「武家の―」  
**２** 人や物の姿・かっこう。なり。風体。「医者の―を装う」  
**３** それらしいようす。ふり。

「知らない―をする」  
**４** 性格の傾向。性向。「人を疎んじる―がある」  
**５**  「詩経」の六義(りくぎ)の一。諸国の民衆の間で作られた詩歌。  
  
**６** 名詞に付いて、そういう様式である、そういう外見である、その傾向がある、などの意を表す。「地中海―の料理」

「役人―の男」

やあ：**１** 驚いたときや不意に気づいたときに発する語。「―、これは驚いた」  
**２** 突然または偶然に出会った人に呼びかけるときに発する語。「―、こんにちは」  
**３** 気合いをこめるときに発するかけ声。また、音曲などの囃子詞(はやしことば)。「えい、―」

ただ：［名］  
**１** 取り立てて値打ちや意味がないこと。普通。「―の人」「―のからだではない」  
**２** 何事もなく、そのままであること。無事。「見つかったら―では済まない」  
**３** （只）代金のいらないこと。また、報酬のないこと。無料。

「―でくれる」「―で働く」

［接］前述の事柄に対して、条件をつけたりその一部を保留したりするときに用いる。ただし。

「出かけていい。―、昼までには帰るように」

図書館は毎日８から夜の１０時まで開館します。ただ月曜日は８時までです

本当に　　代表的だ

古典的

的：［接尾］  
**１** 名詞に付いて、形容動詞の語幹をつくる。  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01676.gifそのような性質をもったものの意を表す。「文学―表現」「詩―発想」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/01678.gifそれについての、その方面にかかわる、などの意を表す。

積極的

私的

僕的

「教育―見地」「政治―発言」「科学―方法」

性：

［接尾］名詞の下に付いて、物事の性質・傾向を表す。「安全―」「アルカリ―」「人間―」

1. 文法

から・・・にかけて

から・・・まで

寒気

１、・・・てたまらない

接続方法：→て

意味：感情などを我慢できない。

「腹がへってたまらない」「友だちに会いたくてたまらない」

申請が許可されたと聞いて、うれしくてたまらない。

具を切っているとき、指を切っちゃったので、痛くてたまらなかった。

一人で暗いところにいて、怖くてたまらない

言葉もまだ十分でない状況で、一人で外国で生活するなんか、心細くてたまらない

合格できるかどうか自信がないから、不安でたまらないです

もう１２時ですけど、あの人はまだ帰ってこないんですから、心配でたまらない

不思議でたまらない

そのニュースを聞いた後、腹が立ってたまらない。

そういう返事だから、気になってたまらない。

悩んでたまらない

２、形容詞の中止法

接続方法：い→く

意味：

1. 并列

この部屋は明るく、きれいです。

その大学は歴史が長く、有名です

この本は新しく、安いです。

この訳し方は早く、正しい

1. 对比

新幹線は速く、普通の電車は遅い。

書きは難しく、読みは易しい。

スイカは安く、メロンは高い

c，原因，理由

会社が遠く、早く行かなければなりません

料金が安く、利用する人が多い

夜が暑く、クーラーがないと、眠れない

手続きが面倒くさく、時間がかかりそうです

待つ時間が長く、つまらなくたまらないので、最後まで待たなかったんです

３、・・・に従って

接続方法：动词原形后

意味：后项与前项动作行为并行。可翻译为“随着……”“越……越……”等。

北へ行くにしたがって、が広がってきた。

大人になるにしたがって、怖くなくなった。

勉強が進むにしたがって、会話もできるようになった

教師の仕事を続けるにしたがって、大勢の前で話すことも慣れてきた

時間がたつにしたがって、傷も治ってきた。

行く回数が増えるにしたがって、向こうもまじめに応えてくれるようになった。

試験が近づくにしたがって、まじめになってきた。

志望者が多くなるにしたがって、競争も激しくなる

一人暮らしをはじめるにしたがって、自分で解決しなければならないことも増えた。

庭付き　一軒屋

学習指導要領

生け花

お稽古

４、甲を乙という

接続方法：体言

意味：“把……称为……”“用……来命名”

中国ではこの食べ物をツォンツと言います

人民服

チャイナドレス

１２月中旬から１月上旬までの休みを冬休みといいます

１１月中旬の休みをあき休みといいます

自分の名誉にかかることを面子といいます

日本語の「やきもち」と同じ意味のことを「嫉妬」といいます。つまり、「お酢を飲む」という意味です。

旧暦の１月を「正月」といいます

花を売っているところを花屋といいます

自分で料理を作ることを「自炊」といいます

* ・・でできる
* お酒とビールはどう違いますか。
* 材料が違います。お酒はお米から、ビールは麦からできています
* ・・に適しています

1. 補足説明

じゃ→では

* ・・ては→ちゃ
* ・・早く行かなくちゃ

かい：［終助］《終助詞「か」＋終助詞「い」から》文末にくる種々の語に付く。  
**１** （親しみをもって）疑問・反問・確かめの意を表す。「おや、雷―」「そんなことでいいの―」  
**２** 反語の意を表す。「そんなに簡単にできるもん―」  
**３** 強く相手を促す意を表す。「つべこべ言わず今すぐ返事をしてくれない―」

連語

ただ一人だけ

ただの会社員です

ただですまないよ

ただであげますよ

出かけてもいい、ただ昼までには戻らなければならない

まあ、そんなに怒らないでください

まあ、いっぱい飲みましょう

砕けた言い方

って：［格助］《格助詞「と」または「とて」の音変化とも》名詞、名詞的な語に付く。  
**１** 引用する語、または文の下に付いて、次に来る動作・作用の内容を表す。…と。「金を貸してくれ―頼まれた」「読書しろ―言われた」  
**２** 上の語または文が、次に来る語の内容説明であることを表す。　　用事

…という。「山田様って方ご存じですか」「用ってほどじゃない」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/02540.gif［係助］名詞、名詞的な語に付く。  
**１** ある事柄を話題として取り上げて示す意を表す。…は。…というのは。

「あなた―親切な人ね」「彼―だれのこと」  
**２** 相手の質問・命令・依頼などを受けて、それを話題として示す意を表す。…と言われても。「今さら変更する―、急に困るね」「どうするか―、決まってるだろ」  
http://dic.yahoo.co.jp/images/V2/yh_gaiji/l/02541.gif［終助］文末の種々の語に付く。  
**１** 他から聞き及んだ話を伝える意を表す。…ということだ。…そうだ。

「君、委員になったんだ―ね」「彼も行きたい―」  
**２** （上昇のイントネーションを伴って）相手の言葉を受けて反問する意を表す。「えっ、なんだ―」「なにっ、知らない―」  
**３** （「かって」の形で）反語の意を表す。「こんなまずいもの食えるか―」

**４** 自分の気持ちを主張する意を表す。

「そんなこと知ってる―」

２、そうすると：

 動詞「する」に接続助詞「と」が付いてできた語。

前の事柄に続いて次の事柄が起こることを示す。

**ドアの前に立った。そうするとひとりでに開いた**

前の事柄の当然の結果として次の事柄が導かれることを示す

**そうするとあなたは会議には出なかったのですね**

**そうすると考えを変えたのだね**

**そうするとこのお金は私にくれるのね?**

じゃ→では

ちゃ→ては

連語

３年分の仕事をただ３ヶ月でやってしまった。

ほかの人はみんな来ましたが、ただ彼だけがまだ来ていません。

ただ自分のことだけを考えています

いい人です。ただわがままのは欠点です。

なかなかよく書きましたね。ただ私にはわからないところがあります。

３、よく：

**1** 〔十分に〕

**彼をよく知っている**  
**彼女の言ったことはよく覚えています**

**よく看病してくれたね**  
**よく考えて答えを書け**  
**2** 〔うまく・好ましく〕

**の如 (ごと)しとはよく言ったものだ。**

**この作文はとてもよく書けている。**

**彼は私のことをよく思っていない**  
**事態は一向によくならない**

**3** 〔相手の行為がうれしいことを表して〕**よくおいでくださいました。**

**本当のことをよくぞ言ってくださって，ありがとう**

**4** 〔しばしば〕

**彼はよく怒る。**

**よく起こることだ，気にするな**  
**よくあるケースだ。**

**僕が子供のとき，母はよく本を読んでくれた**

1. 単語Ⅱ

部屋代

近付く：**１** あるものがある場所の近くに移動する。

「目的地に―・く」

「台風が本土に―・く」  
**２** それを行う時期が近くなる。ある期日・刻限が迫る。

「開会式が―・く」「終わりに―・く」  
**３** 積極的に親しくなろうとする。親密さを求める。近寄る。

「財産目当てに社長令嬢に―・く」  
**４** めざすものに近い状態になる。似てくる。「先代の芸に―・く」「限りなく本物に―・く」

棒：

**１** まっすぐで細長い木・竹や金属製のものなど。

「―でたたく」

**2** 音楽の指揮棒。「―を振る」

**3**疲れなどで足の筋肉や関節の自由がきかなくなること。

「足が―になる」